



研究用試薬

## ヒストファイイン

第一抗体

## 抗第Ⅷ因子関連抗原モノクローナル抗体

(動物種: マウス)

包装: 50 テスト (6mL)

Code: 412191

製造販売元

## 株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

■特異性および抗原分布: ヒト第Ⅷ因子関連抗原(VIII:Ag)と特異的に反応する。VIII:Ag はヒト血漿に存在する糖タンパク質である。ヒト内皮細胞、巨核球および血小板に反応する。血管内の血漿、出血部位、血管損傷および血漿の漏出がある部位は染色陽性となる。したがって、このような非特異的な染色を特異的なVIII:Agと区別する必要がある。

■クローン名: F8/86

■抗体のサブクラス: IgG1、 $\kappa$

■免疫原: ヒト末血漿から精製した第Ⅷ因子関連抗原。

■製法: ハイブリドーマの培養上清より得ている。

## 1. 内容

第一抗体・・・抗第Ⅷ因子関連抗原モノクローナル抗体 (動物種: マウス)。

液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1バイアル中に6mLを含む。

## 2. 使用目的

組織・細胞中のヒトVIII:Agの染色。VIII:Agの免疫組織化学的検出は良性または悪性の腫瘍性病変が内皮由来であることを確認するために有用である。

## \*\*3. 使用方法

パラフィン包埋切片の免疫組織化学および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

パラフィン包埋切片の場合、前処理(抗原賦活化)としてヒストファイイン プロテアーゼ溶液(Code: 415231)にて5-15分間(25℃)処理することが必要である。

スライド上の組織切片が完全に覆われるように第一抗体を2滴(100 $\mu$ L)滴下し、常温(15-25℃)で30分~1時間インキュベートする。\*\*

この反応時間は、ヒストファイイン シンプルステイン MAX-PO(M)を使用する場合の目安であり、他のキットを使用する場合は、研究者自身に最適反応時間を調べる必要がある。

## ■参考

ヒストファイイン プロテアーゼ溶液(Code: 415231)の代わりにヒストファイイン トリプシン溶液(Code: 415101)にて10分間(37℃)処理することで良好な染色が得られる場合がある。

## 4. 貯法

2-8℃保存。

## 5. 使用上又は取扱上の注意

ヒト由来の検体は、取扱者に感染をひき起こす危険性がある。従って、適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

## 6. 主要文献

- (1) Nadji, M. et al: Lab Invest 42: 139, 1980
- (2) Wick, M.R. et al: Lab Invest 52: 75A, 1985
- (3) Burgdorf, WHC. et al: Am J Clin Pathol 75: 167, 1981
- (4) Naiem, et al: J Immunool Meth 50: 145, 1982
- (5) Hruban, et al: Am J Clin Pathol 88: 578, 1987

■研究用としてのみ使用すること